

## 1 学校教育目標

知徳体の調和のとれた教育活動の推進

- (1)主体的な学びを伸長する学習指導・進路指導の推進
- (2)望ましい人間関係づくりに向けた体験活動の充実
- (3)文武両道の継承と自主自立の精神の育成

〈中・長期目標〉 伝統を継承し、相互の信頼感を深め、不断の努力によって学力の充実した心身ともにたくましい生徒を育成

## 2 平成28年度に重点を置いて目指す目標・具体的方策

- ① **総務課**  
学年・分掌・事務室等との連携による組織力の向上
- ② **教務課**  
教育課程の充実と更なる研究
- ③ **生徒課**  
文武両道を継承し、生徒と教員との適切な関係を基礎に生徒が主体的に取り組む学校行事等の特別活動の充実
- ④ **進路指導課**  
適切かつきめ細かな進路指導の継続、生徒の主体的な学びを伸長する学習指導の充実、教員の進路指導力の向上
- ⑤ **教育相談課**  
人権に配慮した指導の充実
- ⑥ **図書視聴覚課**  
読書活動の充実
- ⑦ **情報企画課**  
安全かつ有効な校内外の情報環境の活用
- ⑧ **保健体育課**  
たくましく生きるための体力の向上、望ましい人間関係づくり
- ⑨ **SSH・理数科**  
SSH事業の活用による理数教育の深化
- ⑩ **業務改善**  
相互に信用・信頼できる円滑な人間関係づくり、元気のでる明るい職場環境づくり

| 3 自己評価 |  |  |  |     |  | 4 学校関係者評価   |    |
|--------|--|--|--|-----|--|---|----|
| 評価領域   | 重点目標   | 具体的方策(教育活動)  | 評価基準   | 達成度 | 重点目標の達成状況の診断・分析  | 学校関係者からの意見・要望等  | 評価 |
| 総務課    | ○学年・分掌・事務室等との連携による組織力の向上                           | ○式典、学校行事、教職員研修等において、学年・分掌・事務室の連携・調整を密に行う。                        | 4:十分に連携・調整ができた。<br>3:連携・調整ができた。<br>2:連携・調整が不十分であった。<br>1:連携・調整ができなかった。   | 4   | 情報を早めに提供するように心掛け、十分に調整をして、行事等を実施することができた。分掌を越えて情報を共有し、更なる連携を図ることが課題である。  | 学校関係者からの意見・要望等<br>行事・研修等遺漏なく行われている。企画立案の段階から分掌を越えた意思疎通をお願いしたい。  | A  |
| 教務課    | ○教育課程の充実と更なる研究                                     | ○生徒の進路実現に適切に対応する教育課程の編成と教育活動をスムーズに展開する。                          | 4:学年・教科間で生徒の特性を共通理解して、円滑に教育課程の編成ができた。<br>3:学年・教科間での共通理解ができた。<br>2:学年・教科間での共通理解が不十分だった。<br>1:生徒の特性を把握できなかった。                                      | 4   | 来年度から45分7限授業の教育課程となる。その編成に向けて学年・教科・分掌間で連携を図った。生徒の進路実現に向けて充実した教育課程の編成ができた。  | 45分授業等、高大接続を視野に入れた改革を実施している。新たな教育課程が円滑に実行できるよう、引き続き準備をお願いしたい。   | A  |
| 生徒課    | ○文武両道を継承し、生徒と教員との適切な関係を基礎に生徒が主体的に取り組む学校行事等の特別活動の充実 | ○あいさつの励行や頭髪服装の清整等の「生活習慣の4本柱」を中心とした生活指導の充実                        | 4:毎朝の校門での指導が徹底され、90%の生徒があいさつを交わした。<br>3:毎朝の校門での指導が浸透し、80%以上の生徒があいさつを交わした。<br>2:毎朝の校門での指導が実施されたが、あいさつをしない生徒が目立った。<br>1:毎朝の校門指導が貫徹せず、あいさつも徹底しなかった。 | 3   | 今年度は特に「あいさつ」の励行を学校全体に呼びかけるとともに、日常の指導場面で繰り返し努めてきた。しかし、教職員・生徒の中に、あいさつを交わす余裕が失われていると思われる場面もあった。頭髪服装その他、日常の生活指導は機能しているが、掃除の取組がやや甘くなっている。 | 挨拶は社会で大切な要素なので、ぜひ指導をお願いしたい。おとなしい生徒が多いように感じるが、挨拶が躊躇なくできるよう引き続き指導をお願いしたい。<br>情報モラル教育について、引き続き指導をお願いしたい。<br>学校として生徒への指導のスタンスや生徒自身の実際の取組はA評価に値すると考えるが、全体として一層の取組を期待してB評価としたい。 | B  |
|        |  | ○生徒自身が企画・運営する学校行事を通じて達成感や自己有用感を育み、豊かな社会性や人間性を磨くことができるように指導し援助する。 | 4:行事の成功で生徒全員が成長した。<br>3:80%以上の生徒が満足できる行事となった。<br>2:生徒の自主活動や意欲が低調だった。<br>1:50%以上の生徒が不満を抱え見直しが必要である。   | 3   | 生徒同士が話し合い、調整し、行事の企画運営を通じて生じる具体的な課題を克服してゆくために必要な時間の確保に苦労した。教師が前面に出て主導する場面も多くなり、生徒自身の自発性と主体性を涵養する場面作りに課題が残るが、多くの生徒の人間的な成長を支援することができた。  |   |    |
| 進路指導課  | ○適切かつきめ細かな進路指導の継続、主体的な学習への指導、教員の進路指導力の向上           | ○第1学年－学習オリエンテーションを実施するなど、『予習・授業・復習』サイクルによる学習習慣の確立と基礎学力の定着を図る。    | 4:生徒の学習習慣が定着し、学力が向上した。<br>3:生徒の学習習慣が定着した。<br>2:指導の成果があまり見られなかった。<br>1:指導の成果がほとんど見られなかった。   | 4   | 入学当初の学習オリエンテーションの実施、手帳を全員持たせることにより、自己管理能力、学習計画力が向上した。その結果学習習慣が定着し、基礎学力をつけることができた。  | 授業参観の感想としては、生徒は自らの進路の実現に向けてまじめな態度で授業を受けている。学校評価アンケートや授業アンケートの中で、生徒自身は予習・復習の取組について今一步とと思っているようなので、引き続き指導をお願いしたい。新テスト実施に向けて、授業での取り組みを進めて欲しい。                                | A  |
|        |  | ○第2学年－学習計画表作成・受験アタック課外・模試の実施等により早期受験態勢作りを促す。                     | 4:生徒の受験への取組が十分できた。<br>3:生徒の受験への取組ができた。<br>2:成果があまり見られなかった。<br>1:成果がほとんど見られなかった。  | 4   | 進路講演会や12月の3者面談、2者面談等受験に対する意識を高めるとともに、夏季休業中の課外、アタック課外等を実施し、模試の結果から受験に向けて学力向上が見られた。  |   |    |
|        |  | ○第3学年－課外・模擬試験・センター試験対策講座の実施等により、受験学力の養成と行事からの切り替え指導を効果的に行う。      | 4:取組により受験への学力が向上した。<br>3:取組により受験への学力が定着した。<br>2:取組の成果があまり現れなかった。<br>1:成果がほとんど現れなかった。   | 4   | 学習計画や模試の結果分析を踏まえて、授業、面談等できめ細かな進路指導を行った。進路だより等を通じて進路情報を提供し、受験学力を身につけるための授業、課外の実施の結果、生徒の意欲も高まり、模試結果から学力の向上が見られた。                       |   |    |

| 評価領域   | 重点目標                                   | 具体的方策(教育活動)   | 評価基準  | 達成度 | 重点目標の達成状況の診断・分析  | 学校関係者からの意見・要望等  |   |
|--------|--|---|---|-----|--|---|---|
| 教育相談課  | ○人権に配慮した指導の充実                          | ○効果的な研修会・講演会等を実施するとともに、実態調査による生徒の状況把握と早急な対応を行う。                             | 4: 取組により人権に配慮する意識が高まった。<br>3: 取組により人権に関心をもつようになった。<br>2: 取組の成果が十分現れなかった。<br>1: 意識の切り替えが遅れた。                                 | 4   | 人権教育講演会では、竹内昌彦先生に、障害を持つものの気持ちやいじめもふくめて、いかに生きるべきかについて話していただき、生徒も深く感銘を受けていた。また、これに関連して、LHRで、いじめや人権に関する「健康教育」を行い、生徒に人権に配慮する意識が高まった。 | 講演会なども計画的に行われ、人権に配慮した指導に努められている。  | A |
| 図書視聴覚課 | ○読書活動の充実                               | ○読書推進のための情報提供と図書配架を行う。  | 4: 活動状況は例年より好調であった。<br>3: 活動状況は例年並みであった。<br>2: 活動状況は例年より低調であった。<br>1: 活動状況は顕著に低調であった。                                       | 4   | 今年度は新たに2年生にも読書ノート(年10冊分)を課したので、読書量が増えた。  | 読書の必要性をしっかりと指導いただき、読書活動の一層の推進を期待する。   | A |
| 情報企画課  | ○安全かつ有効な校内外の情報環境の活用                    | ○インターネット上及び校内LAN上にある資源の安全で適切な利用のため、手順と環境整備の周知と保持を行う。                        | 4: 安全を保って有効な活用と整備ができた。<br>3: 多数の教員と生徒に周知ができた。<br>2: 取組んだが徹底できなかった。<br>1: 計画のみに終わった。   | 3   | メール配信による連絡網を、より確実に配信状況を把握できるものに、また、CAI教室関連の機器を新しいものにそれぞれ更新した。  | 学校のホームページが最新のものとなるようお願いしたい。<br>メール配信システムが機能し、登校時間の変更等の連絡も事前に連絡されている。今後、1つの学年だけのメール配信など必要に応じて行えるようなシステムを構築して欲しい。 | B |
| 保健体育課  | ○たくましく生きるための体力の向上、望ましい人間関係づくり          | ○運動を通して仲間との連帯感を大切に、自己の体力と運動能力を向上させるとともに、自分の思いや願いを話すことや人との関わりができる生徒を育てる。     | 4: 仲間と協力し、自主的に工夫して活動していた。<br>3: 仲間と協力し、自主的に工夫して活動する生徒が多かった。<br>2: 仲間と協力し、自主的に活動する生徒が半数程度だった。<br>1: 仲間と協力し、自主的に活動しない生徒が多かった。 | 4   | 体育行事・保健活動を通して、生徒は主体的・自主的に活動していた。その中で、運動を楽しんだり、競い合ったりすることにより自己の体力の向上がみられるとともに、他者を思いやる行動が多くみられた。                                   | 二大行事等の学校行事については、生徒の主体性を大切にしてしっかりと取り組んでいただいている。今後ともしっかりと取り組んでほしい。  | A |
| 理数科SSH | ○SSH事業の活用による理数教育の深化                    | ○SSH事業の取組を通じて、生徒の自主的・主体的な学習活動を支援し、生徒の可能性を拡大するとともに、課題研究等で生徒の知的好奇心や探究心を深化させる。 | 4: 生徒が積極的に活動し、理数教育がさらに活性化した。<br>3: 生徒が積極的に活動した。<br>2: 生徒は与えられた活動等をこなした。<br>1: 生徒の活動に課題がみられた。                                | 4   | SSHの取組によって、理数科・科学部の活動が活性化し、外部発表の実施とともに、化学グランプリ銅賞、科学の甲子園3年連続全国大会出場と実績を残した。  | 理数教育の充実に向けて、今後ともしっかりと取り組んでいただきたい。   | A |
| 業務改善   | ○相互に信用・信頼できる円滑な人間関係づくり、元気のでる明るい職場環境づくり | ○日常的な業務における報告・連絡・相談・提案・質問の流れを重視した円滑な人間関係で繋がる職場環境を構築する。                      | 4: 各主任のリーダーシップが発揮され、良好な職場環境が整った。<br>3: 教職員の協力の下、良好な職場環境が整った。<br>2: 改善すべき点があった。<br>1: 改善すべき点が多くあった。                          | 3   | 各主任を中心に組織的に取り組み、連絡・調整しながら業務を進めることで、円滑な人間関係づくりを進めることができた。今後は、報告・連絡・相談・提案・質問を速やかに行うことで、よりよい職場環境づくりを推進する。                           | 教職員の連携は大切であり、働きやすい職場づくりをお願いしたい。   | B |

## 5 学校評価総括(取組の成果と課題)

- ① **総務課**  
行事等は十分な連絡・調整をし、滞りなく実施することができた。今後も諸行事に対し一体感をもって取り組めるよう、更なる意思の疎通を図る必要がある。
- ② **教務課**  
来年度から45分7限授業の教育課程となる。その編成に向けて学年・教科・分掌間で連携を図り、生徒の進路実現に向けて充実した教育課程の編成ができた。更なる検討を重ねてより良いものにしていきたい。次期学習指導要領の新しい科目についての周知と理解に努めたい。
- ③ **生徒課**  
生活指導では、校門での登校指導を中心とした指導が日常的に行われ、落ち着いた学校の雰囲気を作られた。特別活動では、生徒自らが主体的に活動する学校行事や部活動の在り方について、豊かな人格の形成に向けた開発的指導を推進する必要がある。
- ④ **進路指導課**  
基礎学力の定着、進路実現に対する意識、受験に対応できる学力の向上が見られた。3年間を見通した進路指導の取組を構築していく必要がある。
- ⑤ **教育相談課**  
人権教育講演会や、LHRでの「心の健康教育」を通じて、生徒に人権に配慮する意識が高まった。また、保護者や学年、担任、他の分掌との連携を図り、ケース会議等を実施し、各事例に対して、早期に、適切な対応がとれるよう努力していく。
- ⑥ **図書視聴覚課**  
読書を促す様々なはたらきかけにより、読書量が増えた。合わせて質の向上も図りたい。
- ⑦ **情報企画課**  
より確実に連絡できるよう、緊急メール配信の使用規定と利用業者を変更した。ホームページとの連携を図るなどして、より効果的な対応が必要である。
- ⑧ **保健体育課**  
体育行事・保健活動等を通して、自己の体力の向上や他者を思いやる行動が多くみられた。生徒の自主性・主体性をさらに高めるために、継続した取組を推進していく。
- ⑨ **SSH・理数科**  
SSHの取組によって、理数科・科学部の活動が活性化し、外部発表の実施とともに、化学グランプリ銅賞、科学の甲子園3年連続全国大会出場と実績を残した。
- ⑩ **業務改善**  
一人で仕事を抱え込まないよう、学年・分掌等で協力・連携して業務を進めることができた。今後も同僚性を高め、風通しのよい職場づくりを推進するとともに、業務時間短縮に向け更なる業務改善を進める必要がある。

## 6 次年度への改善策

- ・ 学習指導・進路指導・特別活動のバランスを調整しながら、知・徳・体の調和のとれた教育活動を推進する。
- ・ 企画・立案の段階から各分掌との連携を図り、組織としての連帯感を高める。また、全日制・定時制・分校の連携体制の一層の推進を図る。
- ・ 45分7限授業の導入も踏まえ、新たな教育課程の円滑な運用に努める。
- ・ 教員の授業改善、生徒の学習や読書活動への主体的な取組を喚起することにより、生徒の学力の向上を図る。
- ・ 教員の進路指導力の向上を図り、適切かつきめ細かな進路指導を継続することにより、生徒の進路実現に向けた取組を推進する。
- ・ 生徒の主体的な活動、生活習慣の確立と体力の向上、望ましい人間関係づくりを推進し、自主自律の精神を向上させる。
- ・ いじめ防止に向けた取組や実態調査、効果的な研修会・講演会等の実施により、人権尊重の意識を高める。
- ・ SSHの取組を通じて、生徒の自主的・主体的な学習活動を支援し、生徒の思考力や表現力を醸成する。
- ・ 学年・分掌等の連携の促進や部活動の休養日の設定などにより、業務時間短縮に向け更なる業務改善を進める。